インパクト志向金融宣言の組織概要

（2026年8月版）

インパクト志向金融宣言の組織概要

1. 名称：インパクト志向金融宣言
2. 設立：2021年11月29日
3. 目的：金融機関が扱う資金の流れを可能な限りインパクト志向へと変革させ、環境・社会課題を自律的に解決しうる持続的な資金循環を生みだすことを推進する。（注）投融資は個別の署名機関による。団体としては自らの投融資は行わない。
4. 組織：①非営利の任意団体（法人格なき社団）。②年会費を払って参加する署名機関の間で運営規程を定めガバナンス体制を構築。③総会、運営委員会、事務局および8つの分科会により実際の活動が運営されている。
5. 署名機関数：金融機関68社、サービスプロバイダー10社
6. 活動資金：2025年4月より年署名機関による年会費を財源（年間予算規模：約3000万円）。それ以前は、日本財団系列の社会変革推進財団の資金で賄われていた。
7. 代表者（13名の運営委員により構成される運営委員会の長が代表する）：
   運営委員長　　金井司　三井住友信託銀行シニアアドバイザー
   副運営委員長　松原稔　りそなアセットマネジメント㈱　常務執行役員
8. 事務局：事務局長　安間匡明、　同次長　小笠原由佳
9. 主な活動（１）８つの分科会（①地域金融、②ベンチャーキャピタル、③融資・債券、④アセットオーナー・アセットマネジメント、⑤インパクト志向企業価値向上アライアンス、⑥インパクト志向枠組検討、⑦TISFD、⑧海外分科会）に分かれて、各分科会が30～50名の参加を得て、毎月もしくは2か月に一度程度、分科会の会合を程度開催して議論・協議を進めながら、必要に応じてガイダンスやフレームワークの作成を行う。署名機関が登録した役職員約400名が集う。（２）毎年プログレスレポートを発表し、進捗状況を発信。（３）各種セミナーを頻繁に開催。金融機関の経営トップによる座談会（通称：ELT企画）なども開催。

お問合せ先
インパクト志向金融宣言事務局
Email: idfi_contact@jidfi.org